

県政ホットニュース

Hot News

県庁で行われている定例記者会見などから、
知事の発言や方針を紹介して、県政の新たな動きをお伝えします。

県内大学生が創る奈良の未来事業

最優秀賞は、奈良教育大学生提案の「科学の旅—シーズンフリーのワンストップサイエンスツーリズム—」

県内の大学生に新たな政策を提案してもらい、優秀と認められる提案をして事業化する「県内大学生が創る奈良の未来事業」の公開コンペを、7月23日に県議会本会議場で実施しました。

事前の書類審査を突破した7グループが政策提案を発表し、発想の新しさや実現の可能性、大学生の主体性など8項目による審査の結果、最優秀賞には、奈良教育大学・荻奈津希さん他5人の修学旅行で来県する児童生徒に科学で「ワクワクする刺激を与える奈良に来たい！」と思わせる「科学の旅」の提案が選ばれました。

優秀賞には、奈良女子大学・濱川真衣さん他4人の、県南部地域の資源を学生が発掘し、田舎「ン」を実施して若者が体験等の情報を発信する提案と、奈良教育大学・赤木誠五さん他2人の、児童とその保護者を対象に、県内大学生が中心となってスポーツポートを行つ提案が選ばれました。



最優秀賞を受賞した奈良教育大学の学生と審査員

また、株式会社ワーズスタッフ代表取締役の田澤由利さんにご講演いただき、参加した大学生等が今後のキャリア形成について考える機会となりました。

今後は、提案をした大学生と県職員でプロジェクトチームを立ち上げ、来年度の予算要求を行うなど、具体的な事業化に向けて取り組みを進めます。

7月30日から31日、「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」第7回知事会合が山形県で開催され、荒井正吾奈良県知事が出席しました。

ふるさと知事ネットワークは、13県の知事が参加し、新しい地方自治



意見交換する荒井知事

会合では、「新たな国づくりのための政策提案」として、地方と都市が共に支えあい発展するための企業や人の分散、地方の実情に応じた少子化対策など、25項目の提案をとりまとめ、国へ提言していくことを合意しました。

また、奈良県からは、防災・減災への新たな視点として、深層崩壊の調査・研究に関する情報交換を行い、各県職員の深層崩壊への対応能力の向上を図ることを提案し、今後、連携に向けた準備を進めるについて合意しました。



第7回知事会合のようす

ふるさと知事ネットワーク 知事会合開催

今年も首都圏で 奈良県知事トップセールス

ハウス柿「刀根早生」をPRする荒井知事



8月2日、首都圏流通の要である大田市場と大和野菜等県産農産物を取り扱う食品スーパー「サミットストア深沢坂上店」において、知事トップセールスを実施し、県産農産物の更なる首都圏での販路開拓と販売促進に取り組みました。



「サミットストア」大和野菜等県産農産物コーナーを視察するよう

組みます。
首都圏での
シエフへの食
材紹介など
の運行や
の運行や
認知向上と
定着に取り
組みます。

その後、本年6月より大和野菜等の販売を開始した「サミットストア深沢坂上店」を訪れ、県産農産物満載の店内を視察した後、今後の継続的な販売に向けた意見交換をおこないました。

また、太田好紀五條市長や松本龍昭下市町長、JAならけん経営委員会永田正利会長らとともに、せんとくんやJAならけんハウス柿部会のマスコットキャラクター「柿奈」などによる柿の試食会を実施。試食された市場関係者からは、「甘くてなめらかな食感で美味しい!」と絶賛する声をいただきました。

岡県マーケティング課 ☎0742-27-7401 FAX 0742-26-6211



会長と握手する荒井知事

これに伴い、トニー・フィー・ルア越日友好議員連盟会長訪問団が、8月4日、来県されました。訪問団は、東大寺を拝観したのち、荒井知事や県議会議員らと会談され、将来的な友好交流に向けた意見交換をされました。その後、平城京歴史館を視察されました。

8月5日から14日の10日間、奈良公園一帯で開催された「なら燈花会」のオープニングセレモニーが、8月5日、県新公会堂で行われました。今年で15回目を迎えた、今や奈良の風物詩として定着している「なら燈花会」。ゆつたりと時の流れる古都奈良に、心を癒してくれるろうそくのやさしい灯りが人々の心に感動を与えてきました。

県庁前芝生でも「県庁ほのあかり」を開催し、約600ものろうそくに灯りをともし、星空コンサートや議会ミニ音楽会など、「なら燈花会」を訪れた方をお迎えしました。

ベトナム日本友好 議員連盟会長が 知事を訪問

なら
燈花会

奈良にぎわいを
ありがとう。
なら燈花会15周年



岡県奈良公園室 ☎0742-27-8677 FAX 0742-22-7832